

グアム島で耳下腺炎が流行

2010年5月6日 ProMED 情報()



5月3日現在、グアム島での最近の流行情報として142名の耳下腺炎患者および耳下腺炎疑似患者が報告されています。さらに、以上に加え71名の疑い患者が発生しており、これらについても調査が行われています。2名のみが入院を必要としました(合併症のため)が、これまでのところ、耳下腺炎に関連した死亡患者は出ていません。

耳下腺炎患者と耳下腺炎疑似患者の83%が18歳以下の子供で、11～13歳の年齢層が最も多く44名の患者数です。

〔ProMED 調整者〕

耳下腺炎流行は拡大しています。グアム島での耳下腺炎患者または耳下腺炎疑似患者の数は、3月25日初めの5名から142名以上に増加しました。

グアムの法律では、すべての子供が入学時に麻疹、耳下腺炎及び風疹ワクチン(MMR ワクチン)2回投与の予防接種証明書の提出が義務づけられているために、今回の流行における患者の多くが子供であったことは、予想外なことです。

MMR ワクチンにおける耳下腺炎成分は、麻疹と風疹の成分より免疫原性が低く(免疫を成立させる力が弱い)、感染防御を成立させるためには、2回投与では十分ではない可能性があります。

厚生労働省 福岡検疫所